



あつまる つながる まとまる 大いなる田園のまち あつま

広報あつま

ATSUMA TOWN PUBLIC RELATIONS

2025

11

NO.879



こども園つみき・宮の森こども園

マテリアルの森で 「クリスマスツリーの森」づくり

町立こども園つみき(井鳥佳織園長)と私立宮の森こども園(宮下葉子園長)が合同で10月15日、厚真町と安平町にまたがるマテリアルの森(早来山林)で、「クリスマスツリーの森」づくりの植樹を行いました。園児24人は、植樹会場までの林道を散策して自然と触れ合い、アカエゾマツの幼木を植えました。



寄贈されたクリスマスツリー

植樹会場のマテリアルの森とは、三菱マテリアル株式会社(札幌市)の社有林で、厚真町と安平町にまたがる約1200ヘクタールの山林です。カラマツのほか一部天然林があり、整備しながら木材を提供しているほか、環境教育として小学生のふるさと教育や大学のフィールドワークにも協力しています。両園児の植樹は、胆振東部地震をきっかけに社会貢献活動の一環として始めました。

今年で5年目を迎え、森づくりに参加してもらっているほか、同社は両園に毎年12月にお菓子を添えて成長したアカエゾマツを選定してクリスマスツリーを寄贈しています。園児にとっても「身近な木」として親しまれています。



森について説明する川合さんと深田さん

小型マイクロバスを降りた園児はいずれも4歳児で、植樹会場まで10分ほどかけて林道を歩いて森と触れあいました。同社森林管理室の川合英之室長補佐と深田啓人さんが道先案内人を務めました。「この木、何歳か分かるかな?」「ここにのものがエゾシカの足跡だよ」「この大きな葉っぱはホオノキです」と説明すると、園児たちは立ち止まって興味深げに観察しました。ホオノキの葉を大切に手にする子どももいました。



サポートを受けながら苗を植える園児



プレゼントされた
コースター



広報あつま

ATSUMA TOWN PUBLIC RELATIONS

2025

11

NO.879

ひとのうごき



人 □ 4,223人 (-5)
男 2,153人 女 2,070人



世帯数 2,122世帯 (-2)

10月31日現在 ()内は前月比

- 2 ひとのうごき
- 3 クリスマスツリーの森づくり
- 4-5 令和7年度各会計の予算執行状況
- 6-7 町からのお知らせ
- 8-11 まちの話
- 12-13 保健の掲示板
- 14 健康情報
- 15 すくすく教室／おやこDEクッキング
まちのアイドル／子育て支援センター
- 16 厚高インフォ／よりみち通信
- 17 地域おこし協力隊／将来の夢
- 18 防災のページ
住宅用火災警報器を設置しましょう
- 19 気象台ノート
歳末たすけあいチャリティー即売会
- 20 あつま国際雪上3本引き大会
いきいきサポートサロン
こぶしの湯あつま
- 21 情報ひろば
- 22 ATSUMA LOVERS

10月1日～10月31日届出分

※窓口などで、広報紙への掲載について確認できた方を掲載しています。

厚真町公式SNS



お知らせや最新情報を発信しています!

広報あつまはインターネットでも!



厚真町ホームページ

トップページ下部のバナーから

広報あつま

Hokkaido ebooks

エリアで探す→胆振→厚真町



COVER

今月の表紙



町民有志の「あつまランニングパトロール隊」(宮本慎也隊長)は10月11日、厚真市街地で特殊詐欺の被害防止などを呼びかけました。隊員が新米のななつぼしを提供。「振り込む米(まい)」などと声をかけ、米1合を配って啓発しました。

特別会計

特別会計は、市町村が行っている特別な事業に対して、支出や収入を分かりやすくするために一般会計とは分けて経理するものです。これまでの簡易水道事業特別会計と公共下水道事業特別会計は、公営企業会計のため、厚真町には現在、4つの特別会計があります。

特別会計名	予算現額	収 入		支 出	
		収入済額	収入率	支出済額	執行率
国民健康保険事業	6億2,266万円	2億4,085万円	38.7%	2億3,200万円	37.3%
介護保険事業	6億3,707万円	2億7,169万円	42.6%	2億5,200万円	39.6%
介護サービス事業	5,519万円	0万円	0.0%	3,372万円	61.1%
後期高齢者医療	1億2,436万円	4,699万円	37.8%	3,698万円	29.7%

公営企業会計

公営企業会計は、事業収入を主な財源として独立採算により特定の事業を経理するものです。厚真町は簡易水道事業と下水道事業が該当します。企業活動を正確に把握するため、複式簿記を採用しています。

事業名		予算現額	収 入		支 出	
			収入済額	収入率	支出済額	執行率
簡易水道事業	収益的収入	4億2,100万円	1億3,778万円	32.7%		
	収益的支出	4億8,808万円			2億1,098万円	43.2%
	資本的収入	3億4,102万円	1億7,000万円	49.9%		
	資本的支出	4億8,147万円			1億9,678万円	40.9%
下水道事業	収益的収入	2億6,174万円	1億1,560万円	44.2%		
	収益的支出	2億6,174万円			9,748万円	37.2%
	資本的収入	1億8,222万円	1,529万円	8.4%		
	資本的支出	2億3,806万円			4,564万円	19.2%

町債（地方債）

国などから借り入れた長期間の借入金です。

区 分	金 額
一 般	113億8,609万円
簡易水道事業	48億2,249万円
公共下水道事業	8億4,121万円
合 計	170億4,979万円

一時借入金

一時的に金融機関から借り入れて支払いに充てるお金です。

区 分	金 額
一 般 会 計	なし
特 別 会 計	なし
公営企業会計	なし

財産

出資による権利、債権、土地・建物のほかに、特定の目的のために準備しておく元手の資金をいう基金があります。

区 分	金 額
出資による権利	1億8,646万円
債 権	1億1,849万円
基 金	85億6,623万円
土 地	2,533万2,746㎡
建 物	9万5,913㎡

令和7年度 各会計の予算執行状況

地方自治法および町条例の規定に基づいて、令和7年度各会計予算の歳入・歳出、町債（地方債）、財産の状況についてお知らせします。

※各項目の合計と総額の相違は、端数処理によるものです。
※9月末現在

問い合わせ 総務課 財政グループ ☎27-2481

一般会計

一般会計は、市町村の財政の基本を示す家計簿といえるもので、税金などの収入を示す「歳入」と、その使い道を示す「歳出」の2つから成り立っています。

歳 入	予算現額	収入済額	収入率	用語の説明
町 税	15億2,683万円	9億603万円	59.3%	町税 町内の住民や企業などから集められるもの 町民税や固定資産税、軽自動車税、市町村たばこ税
地 方 譲 与 税	1億525万円	4,163万円	39.6%	
地方消費税交付金	1億1,600万円	8,015万円	69.1%	
地 方 交 付 税	33億8,668万円	19億6,685万円	58.1%	地方交付税 地方公共団体間の財源の不均衡を調整し、一定水準の行政サービスを確保できるよう財源を保障するもの
分担金・負担金	2,440万円	77万円	3.2%	
使用料・手数料	1億3,778円	6,074万円	44.1%	国庫・道支出金 特定の行政目的を達成するために国や道から町に交付されるもの
国 庫 支 出 金	18億5,009万円	8,819万円	4.8%	
道 支 出 金	7億8,700万円	1億5,434万円	19.6%	町債（地方債） 自治体の借入金でその返済期間が2年以上にわたるもの
財 産 収 入	7,518万円	4,140万円	55.1%	
繰 入 金	26億1,698万円	15億1,165万円	57.8%	
繰 越 金	2億1,051万円	2億1,051万円	100.0%	
諸 収 入	2億6,409万円	4,482万円	17.0%	
町 債	31億9,720万円	0万円	0.0%	
そ の 他	6億5,659万円	2億3,877万円	36.4%	
歳 入 合 計	149億5,463万円	53億4,590万円	35.7%	

歳 出	予算現額	支出済額	執行率	使い道
議 会 費	6,254万円	3,206万円	51.3%	… 議員の報酬、手当
総 務 費	16億2,523万円	3億8,444万円	23.7%	… 町の一般的な事務、まちづくり
民 生 費	13億9,072万円	4億7,201万円	33.9%	… 福祉の充実
衛 生 費	2億6,049万円	1億3,165万円	50.5%	… 医療の充実・ごみ処理
労 働 費	2,622万円	1,260万円	48.1%	… 労働者福祉事業
農林水産業費	42億2,494万円	34億1,726万円	80.9%	… 産業振興
商 工 費	1億5,467万円	7,399万円	47.8%	… 商工振興
土 木 費	26億1,187万円	3億2,054万円	12.3%	… 道路、河川の整備
消 防 費	10億550万円	1億5,882万円	15.8%	… 消防、災害対策
教 育 費	8億6,243万円	2億4,492万円	28.4%	… 学校教育・生涯学習の推進
公 債 費	13億2,492万円	6億5,374万円	49.3%	… 借入金の返済
給 与 費	9億5,896万円	4億1,524万円	43.3%	… 職員の給料、手当
諸 支 出	4億393万円	2億5,000万円	61.9%	… 公営企業会計の出資金・補助金
予 備 費	1,894万円	0万円	0.0%	… 予備
災 害 復 旧 費	2,322万円	0万円	0.0%	… 災害復旧
歳 出 合 計	149億5,463万円	65億6,732万円	43.9%	

下水道不明水対策について

建設課 上下水道グループ ☎ 27-2326

町では、下水道の不明水対策を進めています。町民皆様のご協力をお願いします。

下水道不明水とは

汚水（し尿および生活雑排水）のみを処理する下水道処理施設に、何らかの原因で雨水や地下水などが流入することをいいます。

主に、下水道管の老朽化でできたひびや隙間、マンホール蓋の破損部分などからの流入、各家庭の污水管の破損部分などからの流入や雨水管の誤接続などが考えられます。



正常な污水管点検口



蓋が開いている



破損している



地中で折損している

町民の方へのお願い

- ①宅地内の汚水ますや污水管に破損が無いかご確認ください。

宅地内の污水管などは所有者（家主など）の責任において適切な維持管理を行うこととしていますので、異常が見受けられましたら、速やかに修理等をお願いします。

なお、破損箇所からの雨水や土砂の流入などにより、管が詰まってトイレ等が使用できなくなることがあります。修理などでお困りの方は町で定めた指定工事店へご相談ください。

指定工事者の一覧▶
（町ホームページ）



- ②宅地内の雨水や屋根からの雨どいの雨水を污水管に流していないかご確認ください。

誤って流している場合は、速やかに改善をお願いします。

安平・厚真行政事務組合からのお知らせ

安平・厚真行政事務組合 ☎ 22-3151
住民課 町民生活グループ ☎ 26-7871
（総合ケアセンターゆくり内）

せん定枝の回収について

11月末日でせん定枝の無料回収が終了します。
12月から3月末までは有料です。

※12月から3月末までは期間中はもやせるごみ用の有料指定袋（ピンク色）を枝に直接巻き付けて、火曜日にごみステーション横に出してください。

※じん芥処理場に自己搬入する場合も、もやせるごみとして有料となります。

年末年始のごみ収集について

12月31日（水）～1月4日（日）は
ごみ収集を行いません。

※じん芥処理場も休業します。

※1月5日（月）から通常どおり
収集を再開します。



冬のガーデニング講習会

コミュニティ運動推進協議会事務局 ☎ 27-3179
（まちづくり推進課 企画調整グループ）

ご家庭で手軽に楽しくできる冬のガーデニング講習を行います。

日 時 12月9日（火） 13時30分～

会 場 総合福祉センター大集会室

講 師 梅原智哉氏（梅原商店）

内 容 家庭で手軽に楽しめる多肉植物の寄せ植え講習

定 員 25人 ※先着順

参加費 1,500円

持ち物 シャベル、軍手

申し込み 12月5日（金）までに
電話でお申込みください

年末のパスポート発行

住民課 町民生活グループ ☎ 26-7871
（総合ケアセンターゆくり内）

パスポートの年内受け取りは早めの申請をお願いします。

パスポート（旅券）の年内受け取りを希望する方は、次の期日までに申請手続きを済ませるようお願いします。

申請書に不備がある場合などは、年内に旅券の受け取りができないこともあります。年末年始に旅行を計画される方は、早めの申請をお願いします。

また、オンラインによる申請は、内容確認に時間をいただくことがあり、窓口での申請よりも日数がかかる場合があります。

年内の受け取り

12月29日（月）まで
※12月30日（火）から1月4日（日）までは閉庁

年内受け取りの申請期日

12月10日（水）16時30分まで
※オンラインの場合は、上記期日までに審査完了したもののみ、年内の受け取りができます。

国民健康保険の手続きはお早めに

住民課 町民生活グループ ☎ 26-7871
（総合ケアセンターゆくり内）

国民健康保険の加入・脱退手続きは、必ず14日以内に行ってください。

国民健康保険に加入、または脱退するときは、必ず14日以内に手続きを行ってください。正当な理由なく届け出が遅れると、加入の届け出の前日までの医療費が原則全額自己負担になったり、脱退の届け出までの保険料の変更（減額）ができない場合があります。
※同居するご家族以外の方の申請には、委任状が必要です。

脱退の届け出が必要な場合	必要なもの
厚真町外に転出した	・資格確認書または資格情報のお知らせ
社会保険などほかの保険に入った※ 家族の保険の被扶養者になった※	・資格確認書または資格情報のお知らせ ・新しい資格確認書または健康保険資格取得証明書
生活保護の受給を開始した	・資格確認書または資格情報のお知らせ ・生活保護開始決定通知書
死亡し、葬祭費の申請をする	・資格確認書または資格情報のお知らせ ・喪主の氏名が確認できるもの（会葬礼状はがきなど） ・喪主名義の口座が確認できるもの

加入の届け出が必要な場合	必要なもの
退職により社会保険などほかの保険をやめた※ 家族の扶養から抜けた※	・社会保険等資格喪失証明書 （退職した職場もしくは社会保険事務所から発行されます）

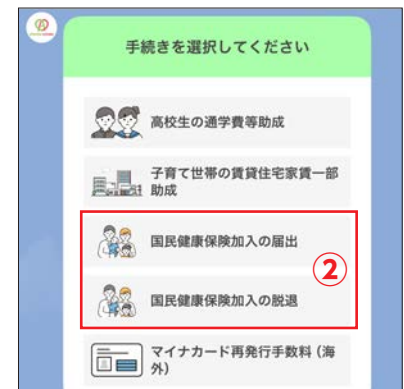
※のついている手続きは、町公式LINEよりオンライン申請ができるようになりました。



〔操作手順〕

①メニューの各種申請

②国民健康保険加入の届出（脱退）



町公式LINE
登録は
こちらから



秋のセーフティコールあつま開催

秋の全国交通安全運動(9月21日～30日)にちなみ、厚真市街地で19日に「セーフティコールあつま」(町交通安全推進委員会主催)が行われ、町内の事業所や厚真高校生など125人が道行くドライバーに交通安全を呼びかけました。

運動の目標は、歩行者の安全な道路横断方法等の実践と反射材用品や明るい目立つ色の服装等の着用促進、ながらスマホや飲酒運転等の根絶と夕暮れ時の早めのライト点灯やハイビームの活用促進など5項目—です。



街頭啓発する参加者の皆さん

JAとまこまい広域が町に新米寄贈

JAとまこまい広域の堀弘幸代表理事組合長は10月1日、厚真産のブランド米「さくら米(ななつぼし)」の新米50kgを町に寄贈しました。

来訪したのは、堀組合長や理事の堀田昌意さんと松原正明さん。町内では、出荷契約生産者131人が主食米1447㍓を栽培しています。堀組合長は「高温続きでしたが、粘りがある柔らかなお米ができました」と語りました。寄贈した新米は、10月9日にこども園2園と小・中学校4校、高校の給食で提供されました。



新米を寄贈した理事の松原さん、堀田さん、堀組合長(左から)

株式会社I-TECソリューションズが町に寄付

苫小牧市でITシステムを開発する株式会社I-TECソリューションズの近藤広輝代表取締役社長は10月6日に町を訪れ、宮坂町長に寄付目録を贈りました。

寄付は、同社の創立55周年を記念して地域貢献活動の一環として行われました。近藤社長は「微力ですが、地域振興(子ども・子育て支援)のために役立ててください。引き続き協力させていただきます」と話し、現金55万円を贈りました。



寄付目録を町長に贈った近藤広輝代表取締役社長(中央左)



神事で出来秋に感謝する関係者の皆さん

収穫の感謝を込めて厚真ダム水神宮で落水式

町土地改良区(細川隆雄理事長)は10月7日、厚真ダムを見下ろす高台の水神宮で落水式を行い、約30人が出席して実りの秋に感謝しました。

地球温暖化の影響はありますが、適正な肥培管理などで良食味米が生産できました。細川理事長は「価格も含め、稲作農家は豊作でした」と笑顔を見せました。

株式会社小金澤組と丸彦渡辺・木本特定JVに感謝状贈る

地域貢献に尽力したとして町は9月、株式会社小金澤組と、丸彦渡辺・木本建設工事共同企業体(JV)に感謝状を贈りました。

小金澤組は、上厚真小の校舎正面入り口付近の舗装路面に駐車場の区画線を引き、来校者の利便性と安全性を確保しました。また、丸彦渡辺・木本特定JVは宇隆生活会館駐車場のアスファルト舗装を行い、地域の利用者の安全と利便性を向上して環境整備に貢献しました。

感謝状は、小金澤組が9月16日に椎名心専務取締役に贈呈、丸彦渡辺・木本特定JVが9月26日に丸彦渡辺建設株式会社苫小牧支店の石澤智理事支店長と有限会社木本建設の木本宏代表取締役役に贈りました。



株式会社小金澤組への感謝状贈呈(上)
丸彦渡辺・木本特定JVへの感謝状贈呈(下)

厚真高校2年生の大垣尊良さんに町と町教育委員会が栄誉賞を贈呈

令和7年度全国高校総合体育大会(広島市)の男子砲丸投げで18m02を記録して優勝した厚真高校2年生の大垣尊良さんに9月16日、町と町教育委員会がそれぞれ栄誉賞を贈呈しました。

贈呈式は、全校生徒が見守るなか同校体育館で行われ、遠藤教育長が代表して賞状を手渡しました。遠藤教育長は「夢と希望を持ち続けることが皆さんの道しるべとなります。意欲をかき立てて日々を歩んでください」とあいさつしました。大垣さんは今後、国民スポーツ大会(滋賀県)やU18陸上競技大会(三重県)などに出場し、躍進が期待されています。



栄誉賞の贈呈を受ける大垣尊良さん

厚真町花き部会が花束を贈る

厚真町花き部会(桐木洋光部会長、12戸)は9月19日、町内の小・中学校などに花束をプレゼントしました。

町内で花き栽培していることを知ってもらい、生花に触れて心豊かに成長して欲しいとの思いを込めて毎年贈呈しています。洋菊のママやカーネーションなどを花店で花束にしてもらい、代表して遠藤教育長に花束を届けました。桐木部会長は「高温続きで温度管理や水やりなど大変でしたが、生花の良さを感じてもらえたら」と話しました。



遠藤教育長に花束を贈る桐木部会長



委嘱状の交付を受けた渡場さん

地域活性化起業人 わたしは 渡場一成さんに委嘱状を交付

町は10月16日、渡場一成さんに、地域活性化起業人の委嘱状を交付しました。

交付日は10月1日付。奈良県出身の渡場さんは、現在、人事・採用コンサルティングや人材紹介、転職支援を行うSpray株式会社(東京都)の取締役として活躍しています。町職員の流動化の抑止や魅力ある町役場づくりのために尽力してもらう予定です。宮坂町長は「創造的、独創的な仕事ができるのも厚真町役場の魅力です。人材育成も含め、お力をお借りします」と話しました。

明治安田生命保険相互会社苫小牧支社が 町に寄付

明治安田生命保険相互会社苫小牧支社は10月17日、育英資金等に役立てて欲しいと町に30万4200円を寄付しました。

寄付は、同社の従業員が地域貢献活動として自主的に取り組んでいて、厚真町を“推し活先”として選びました。同社市場統括部の高田真光部長は「町のためにお役立てください」と話し、目録を宮坂町長に贈りました。



笑顔で寄付目録を贈った高田部長(中央左)

「わたしを知る」ウテナカフェで 参加者が交流



和やかに意見交流した参加者

まちなか交流館 落葉樹色のジェラートベリーモッチで10月7日と21日、「ウテナカフェ」を開き、延べ約10人が参加しました。

子育てをきっかけに変わる「わたしを知る」ことがメインテーマで、対話を通じて自分を知り、見直すきっかけを作る交流・対話セミナーです。7日は「わたしのカラダを知る～女性ホルモンとわたし～更年期仕組み編」、21日は「わたしのトリセツ頼るチカラ」について、オンライン講師のアドバイスに加え、参加者同士で自分のからだのことや生き方、働き方について話しました。

参加者は、日ごろ話題にしにくいことも穏やかな雰囲気の中で心を開き、共感を呼びながら交流しました。

ウテナカフェは、10月から来年3月まで全10回開催。年内は12月2日(火)に「お仕事体験(営業)」を開きます。時間は11時～12時30分で、お気軽にご参加ください。

詳細や申込みは、こちらから→



町と公益財団法人イオン環境財団が 「桜の植樹会」開催

町と公益財団法人イオン環境財団は10月11日、本郷地区で「桜の植樹会」を開き、町民を含む約200人が参加しました。

桜の植樹会は令和3年から行われていて、これまでに吉野・幌内地区に2730本のエゾヤマザクラを植樹。今年は、400本を植えました。そろいのTシャツを着た参加者たちは、満開の桜を連想しながら地面に穴を掘って丁寧に植えました。



職員から植樹の説明を聞く参加者の皆さん

大東開発株式会社が 企業版ふるさと納税で町に寄付

大東開発株式会社は10月14日、企業版ふるさと納税で町に150万円を寄付しました。

三浦勇人代表取締役と桐沢和希営業主任が来町し、町が手掛ける起業家人材の育成などに活用してほしいと寄付しました。三浦代表取締役は「恩返しを兼ねて、僅かですが今後もお役に立てたいと思います」と話し、宮坂町長は「起業家人材育成プログラムに活用させていただきます」と感謝しました。



寄付目録を贈る三浦代表取締役

株式会社アークに善行賞

浜厚真海岸の活性化に尽力された株式会社アーク(渡邊賢二代表取締役)に10月14日、町は善行賞を贈呈しました。

同社は、脱炭素社会のまちづくりに貢献。町の浜厚真臨海ゾーン活性化プロジェクト事業に300万円を寄付し、今夏の国内最高峰のプロサーフィントーナメント「S.ONE開幕戦「さわかみ北海道プロ」」の開催などに協力し、交流人口の促進を図るなど町に大きく貢献されました。渡邊代表取締役は「北海道電力と合同会社も作り、イオン北海道の全店舗にも電力を供給しています。社会貢献に励みたい」と語りました。



表彰状を手にする渡邊代表取締役

北海道木材産業協働組合連合会などが 道産材の需要拡大を要望

北海道木材産業協働組合連合会などの関係3団体が10月14日、町を訪れて宮坂町長に道産材の需要拡大を要望しました。

来訪したのは、同連合会のほか北海道森林組合連合会と苫小牧広域森林組合です。一行は、建築物の木造化を促進し、公共施設の木造化・木質化を進めて欲しいと意向を伝え、道産材の積極的な利用に関する要望書を手渡しました。



要望書を手渡す関係団体の皆さん



こどもの予防接種

接 種 日	未 就 学 児	水 曜 日	14時～15時 (この時間は一般診療休み)	予防接種 専用サイト 
	小 学 生 ～19歳	月・金 曜 日	9時～12時、14時～17時	
		水 曜 日	9時～12時、15時～17時	
予 約 / 受 付 接 種 場 所	あつまクリニック ☎ 27-2422 京町15 前の週の金曜日までに予約が必要です (予約受付時間: 9時～12時、15時～17時)			
持 ち 物	母子健康手帳、予診票			

予約時は、予防接種専用サイトで接種対象であるかどうかを確認してください。専用サイトと母子健康手帳の接種履歴に相違がある場合などは、住民課健康推進グループ (保健師) までご連絡ください。

	対象者	標準的な接種期間と回数
ロタウイルス (1価)	生後6～24週未満	27日以上あけて2回 ※1回目は14週6日までに接種
B型肝炎	生後2カ月～1歳未満	(初回) 27日以上あけて2回 (追加) 1回目終了後から20週以上あけて1回
ヒブ (※1)	生後2～60カ月未満	(初回) 生後2～7カ月未満 (27日以上あけて3回) (追加) 初回後7～13カ月あけて1回
小児肺炎球菌	生後2～60カ月未満	(初回) 生後2～7カ月未満 (27日以上あけて3回) (追加) 生後12～15カ月未満 (初回後60日以上あけて1回)
四 種 混 合 (※1) (ジフテリア・破傷風・百日咳・ポリオ)	生後2～90カ月未満	(初回) 生後2～12カ月未満に20～56日あけて3回 (追加) 初回後12～18カ月あけて1回
五 種 混 合 (※2) (ジフテリア・破傷風・百日咳・ポリオ・ヒブ)	生後2～90カ月未満	(初回) 生後2～7カ月未満に、20～56日あけて3回 (追加) 初回6～18カ月あけて1回
二 種 混 合 (ジフテリア・破傷風)	11～13歳未満	11歳で1回
B C G	生後5カ月～1歳未満	生後5～8カ月未満に1回
MR混合 (麻しん・風しん)	(1期) 生後12～24カ月まで (2期) 年長児相当 (就学前の1年間)	1期、2期ともに1回
水痘 (水ぼうそう)	生後12～36カ月未満 ※すでに罹患済みの場合は対象外	(初回) 生後12～15カ月未満に1回 (追加) 初回後6～12カ月あけて1回
おたふくかぜ (任意)	1歳以上 ※すでに罹患済みの場合は対象外	1歳以上で1～2回 ※町独自の助成により1～3歳までの初回1回のみ無料
日本脳炎	(1期) 生後6カ月～7歳6カ月未満 (2期) 9～13歳未満 ※特例対象者は20歳未満まで接種可	(1期初回) 3歳: 6～28日あけて2回 (1期追加) 4歳: 1期初回終了後約1年あけて1回 (2期) 9歳: 1回
HPV (ヒトパピローマウイルス) (9価)	小学校6年生～高校1年生相当の女子	中学1年生 (6カ月あけて2回) ※1回目の接種が15歳を超えた場合は3回 (2カ月以上あけて2回接種した後、1回目から6カ月以上あけて1回)

(※1) 令和6年3月31日までに接種を開始している方は、同じワクチンで接種を終えてください。
【重要】四種混合ワクチンの生産終了の決定に伴い、接種可能期間はワクチンの在庫がある間までとなりました。四種混合の計4回接種が完了していない方は、必ず健康推進グループまでご相談ください。
(※2) 令和6年4月1日から新たに接種を開始する方は、五種混合ワクチンが適用されます。(ヒブおよび四種混合は対象外)



保健の掲示板 12月

住民課 健康推進グループ ☎26-7871 (総合ケアセンターゆくり内)

健診・検診・相談・教室など		
①ニューママ教室 ②プレママ教室		1歳6カ月児・3歳児健診
対 象	①産後2～6カ月のママとお子さん ②妊娠中の方 (妊娠12週未満の方、臨月の方は相談)	対 象 ①令和6年3月25日～ 令和6年6月17日生まれ ②令和4年9月25日～ 令和4年12月17日生まれ
と き	12月12日 (金) ①9時30分～10時30分 ※お子さんの計測希望者は9時～9時30分に来場 ②10時45分～11時45分	と き 12月17日 (水)
と ころ	厚真子育て支援センター	と ころ 総合ケアセンターゆくり ※個別に案内
内 容	①ベビーマッサージ、助産師相談 ②マタニティヨガ、助産師相談	持 ち 物 母子健康手帳、歯の健康ノート、 バスタオル、歯ブラシ、アンケート、早朝尿 (②のみ)
持 ち 物	①母子健康手帳、バスタオル、ベビーオイルやベビークリーム ②母子健康手帳、ヨガマット (バスタオル可)、動きやすい服装	

こころの相談		保健所の相談
心身ともに、こんな変化はありませんか？ ・眠れない ・人の視線が気になる ・人に会いたくない ・以前よりイライラする ・何事にも集中できない ・日常生活に支障が出るほどお酒を飲む など ストレスなどからくるこころの危険信号かもしれません。 臨床心理士が、本人やご家族のこころの健康や子育ての悩みを抱える親御さんの相談に応じます。 一人で抱え込まずに、ぜひご相談ください。		問い合わせ 苫小牧保健所 ☎0144-34-4168 相 談 ・ 検 査 の 名 称 日 程 女性の健康相談 第1木曜日 妊娠、出産、子育てなど女性の心身 ※休日の場合は第2木曜日 の相談 肝炎ウィルス検査・梅毒検査 月2回 感染が疑われる方は無料 (要事前確認) 骨髄バンク登録 要事前予約 (随時受付) 登録の基準があります H T L V - 1 抗体検査 要事前予約 (随時受付) 10日前までに予約してください H I V 検査 (エイズ相談) 月2回 無料、匿名検査 (要事前確認) エイズ専用電話☎0144-35-7474

12月の夜間・日曜・祝日の医療機関				
内科・小児科系		外科系 診療時間：9時～17時		
苫小牧市夜間休日急病センター		日 程	病 院 名	住 所 (苫小牧市) 電話 (0144)
住 所	苫小牧市旭町2-9-2	7日 (日)	にしん泌尿器科クリニック	日新町2-6-43 71-1100
電 話	0144-32-0099	14日 (日)	同樹会苫小牧病院	新中野町3-9-10 36-1221
	平 日 19時～翌朝7時	21日 (日)	苫小牧日翔病院	矢代町2-9-13 72-7000
診療時間	土 曜 日 14時～翌朝7時	28日 (日)	苫小牧東部脳神経外科	北栄町2-27-27 53-5000
	日曜祝日 9時～翌朝7時	31日 (水)	ハート整形ペインクリニック	三光町2-5-3 38-7000
※変更になる場合があります。病院や新聞などで事前に確認してください。				



北海道救急医療・広域災害情報システム
近くの医療機関などが検索できます
<http://www.qq.pref.hokkaido.jp> ☎0120-20-8699 ☎011-221-8699 (携帯・PHSから)

すくすく教室

すくすく教室は、生後6カ月～1歳6カ月ごろまでのお子さんのいる方を対象に、調理実習や試食、講話、相談を行う教室です。お気軽にご参加ください。

住民課 健康推進グループ ☎26-7871
(総合ケアセンターゆくり内)

内容 離乳食初期から完了期のクリスマスレシピ紹介

日 時：12月19日(金)10時30分～12時
場 所：総合ケアセンターゆくり2階調理実習室
持ち物：エプロン、三角巾、飲み物、手口ふき
こども用スプーンとフォーク、抱っこひも
参加費：無料 定員：6組
申し込み：12月10日(水)まで



厚真町食生活改善推進協議会主催

おやこDEクッキング

クリスマスメニューと
フルーツミルクレープ
を作ります



日 時：12月13日(土) 10時30分～13時
対 象：小学生とその保護者
※兄弟、祖父母との参加も可能です。
定 員：8組
持ち物：エプロン、三角巾、上靴
※お子さんには三角巾をプレゼントします。
参加費：無料
申し込み：12月4日(木)まで

住民課 健康推進グループ ☎26-7871
(総合ケアセンターゆくり内)



まちのアイドル

3歳のお子さんの写真を募集しています。住所、氏名(ふりがな)、生年月日、性別、両親の氏名(ふりがな)、電話番号を明記の上、まちづくり推進課企画調整グループへ。
(メール) kikaku@town.atsuma.lg.jp



子育て支援センター

12月のよてい

子育て講座 発達段階に合った関わり方&発達を促すスキンシップを学ぶ

日 時：12月1日(月) 10時～11時
場 所：厚真子育て支援センター 申し込み：11月28日(金)まで

子育て講座 リズムシェイプ

内 容：音楽に合わせて体を動かすエクササイズ
日 時：12月9日(火) 10時～11時
場 所：厚南子育て支援センター 持ち物：飲み物・タオル
申し込み：12月8日(月)まで

申し込み・問い合わせ・予約・相談

厚真子育て支援センター ☎27-2438 京町152(こども園つみにきに併設)
厚南子育て支援センター ☎28-3155 上厚真258-7(宮の森こども園に併設)
※講座などの申し込みは会場となる子育て支援センターまで

地域子育て相談機関
月曜～金曜日 15時～17時(要予約)
皆さんの子育てに
親身に寄り添いサポートします。

困った時は一人で悩まず、ご相談ください。

LINEで予約



●自由開放…月曜～金曜日 9時～12時/13時～15時 ●サークル活動(予約制)…月曜～金曜日 13時～15時

健康情報

住民課 健康推進グループ ☎26-7871
(総合ケアセンターゆくり内)



担当
保健師 ささもり 世森 あゆみ

今月のテーマ

寒暖差に注意！ ～寒暖差疲労をためないための対策～

秋の深まりとともに紅葉が美しく色づきはじめてきました。日中は穏やかな陽気でも、朝晩の冷え込みで冬の足音が感じられます。暖房器具が寒い季節となりました。

暖房器具を使用すると、室内外の急激な温度変化が生じて身体は影響を受けます。人は寒さを感じると身体の熱を逃がさないように、自律神経の一つで体を活動モードにする交感神経が盛んに働きます。

常に寒暖差の激しい環境に身を置いていると、交感神経が環境に適応しようと反応して疲弊し、自律神経の乱れから、頭痛などの体調不良を起こしやすくなります。特に前日との気温差が5度以上あると身体に影響が出やすいため、季節の変わり目は注意が必要です。

寒暖差疲労を
ためないための対策

●生活習慣を整える

自律神経の乱れを起こさないためには、規則正しい生活が必要で、3食バランスのとれた食事の摂取が重要です。できる限り冷たいものは避け、

オススメ！前ならえ体操

- ①立った姿勢で両手で「前へならえ」をします。
- ②息を吸いながら右手を上げ、同時に左手は下げます。両手の角度が180度になるようにします。息を吸う時に肋骨が広がっていることを意識しましょう。
- ③息を吐きながら両手を「前へならえ」の位置に戻します。
- ④左右の手を交互に動かしましょう。

※手を動かす時は背筋を伸ばし、首が前へ出ないように注意しましょう。



温かいものを食べるようにしましょう。豚肉や大豆などのビタミンB1が含まれる食材は、疲労回復に効果的です。また、睡眠不足は自律神経の乱れを招くため、睡眠を十分とるようにしてください。

●軽い運動を心掛けましょう

ストレッチや散歩などの軽い運動で、体を動かすようにしましょう。体を動かすことで睡眠の質を上げるほか、血行を促進して胃腸の働きを改善効果を高めた血液の循環を活性化して寒暖差疲労の改善が期待できます。

●体を温めましょう

体を温めるのに最も効果的なのが入浴です。入浴は、自律神経を整える効果や睡眠障害の改善にもつながると考えられています。

入浴の際は
ヒートショックに注意

気温の変化によって血圧が上下し、心臓や血管の疾患が起こることをヒートショックといいます。血圧の乱高下に伴って、脳内出血や大動脈解離、心筋梗塞、脳梗塞などの病気が起こるのです。

ヒートショックは、暖房の効いた部屋から寒い脱衣所に移動して浴槽に入る時などに、急激な温度変化によって起きるといわれていますので、以下の点に気をつけましょう。

①脱衣所と浴室を温める

温かい部屋と脱衣所の温度差を軽減するため、脱衣所に暖房器具を置くなど工夫をしましょう。

②お湯の温度は低めに設定

お湯の温度が42度以上になると、心臓に負担をかけることが知られています。38～40度に設定して入浴することが勧められています。

③ゆつくりと浴槽から出る

お湯に浸かっている時は、身体が温められ、血管が弛緩(しかん)して血圧が低下しています。その状態で急に立ち上がると、脳まで血を運ぶことができず、めまいを起したり、失神することがあります。浴槽から出る時はゆっくり立ち上がることを心がけましょう。



地域おこし協力隊

厚真町で活動している地域おこし協力隊をご紹介します！

現在活動している協力隊〈10月末現在〉

農業▷8人 教育魅力化▷2人 観光▷1人
起業型▷9人 協働型▷4人 スポーツ▷1人

教育魅力化支援員

やまなか けいと
山中 恵杜さん

着任：令和7年4月（1年目）
出身：帯広市



—これまでの経歴について教えてください。

高校まで帯広市で過ごし、弘前大学教育学部に進学しました。子どもの頃から「人に関わる仕事がしたい」と思い、中学時代には漠然と「先生になりたい」と考えていました。思いは冷めず、大学では教育に関する幅広いテーマに関心を持ち、特に「部活動の地域移行」や「公営塾」に興味を持ちました。卒業後は放課後児童支援員や家庭教師として3年間、現場で子どもの学びを支援してきました。

—厚真町に来たきっかけは？

大学時代の担当教授が、公営塾を運営している会社を紹介してくれたのがきっかけです。教育の場を学校の外にも広げる公営塾の取り組みに興味を持ちました。公営塾を運営している厚真町に直接連絡したところ、芽室町で開催された講演会に誘われて参加しました。子どもたちの学びや成長を支える環境づくりへの関心が高まり、町ぐるみで教育に取り組む場所で挑戦したいと厚真町を選びました。

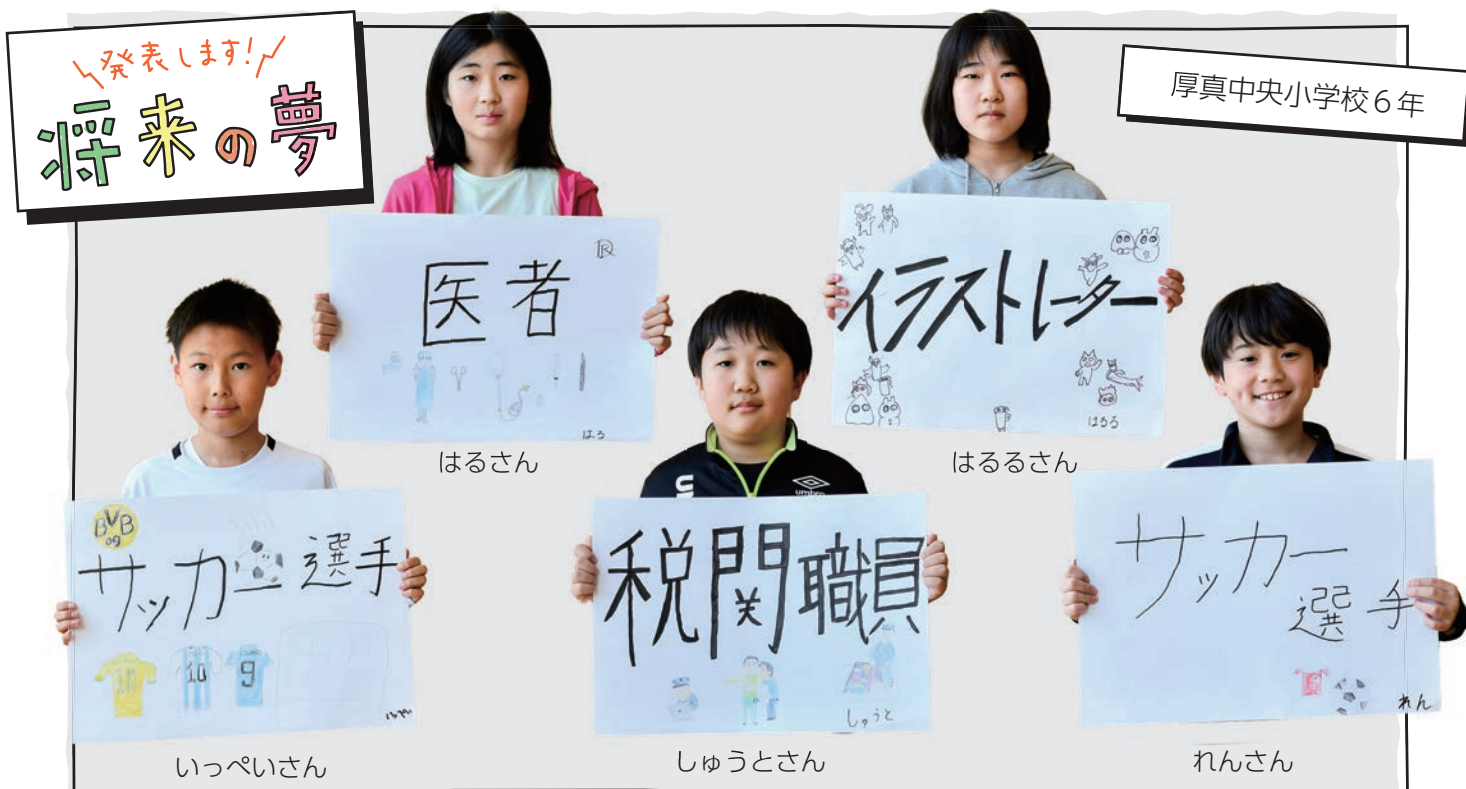
—どのような活動をしていますか？

町内の公営塾で高校生の学習支援はもちろん、放課後の過ごし方や地域とのつながりを大切にしながら活動しています。生徒一人ひとりが「何をやりたいのか」「どのような将来を描きたいのか」を考えるきっかけづくりを心掛けています。地域の大人や高校生同士の交流の場を増やしています。私自身もかつて、そのような場で自衛隊員であるクラスメイトの父親や近所のラーメン店の店主など“地域の中の大人”と出会い、支えてもらいながら「生き方」を学ぶことができました。今度は、自分がその役割を担うつもりです。

—3年後の目標を教えてください。

学校の先生でも地域のボランティアでもない“第三の立場”として、子どもたちの放課後を支える仕組みを厚真で実現したいと思っています。教育やスポーツ、地域がつながることで、子どもたちが「大人になってもこの町で挑戦したい」と思えるような環境をつくるのが目標です。部活動の地域移行や学びの場づくりなど、校外でも持続的に子どもを支える環境づくりに関わっていきたいです。

厚真町とみなさんの関係をつなぐウェブサイト「あつまのおと」では、地域おこし協力隊の情報をはじめ、町の「ヒト・コト・モノ」、「挑戦と出会い」の情報を発信しています。



厚高インフォ

Vol.311

学校の取り組みは
ホームページでも！



■令和7年度強歩大会（9月18日）

晴天の下で強歩大会を開きました。全校生徒は、体力に応じて13・7kmのコースに挑み、強い身体と忍耐力を養い、成就感を味わいました。地域の皆さんやPTA、町教育委員会、公営塾の方々の協力で無事に終了しました。

成績（敬称略）▽【男子】①平田将大、②長谷拓飛、③小宅和哉【女子】①石坂碧空、②長尾結愛、③中島花奏



■セーフティコールあつま（9月19日）

厚真市街の交差点で、全校生徒がセーフティコールあつまに参加しました。町民の皆さんと一緒にのぼりを掲げて交通安全を呼びかけました。生徒にとって、交通規則を遵守した模範運転者としての自覚と責任を知る機会となりました。

■編入学式（10月1日）

校長室で、海外からの入学生の編入学式が行われました。モンゴルのスフ

バード・エンフフセルンさんで、2学年に編入しました。彼女は、7月末に一家で移住して日本語を勉強中です。始業式で佐藤校長先生から紹介され、覚えての日本語で元気にあいさつしました。愛称は「フセルン」です。皆さん、「フセルン」さんをよろしく願います。

■後期始業式・生徒会役員認証式（10月2日）

体育館で、後期始業式を行いました。校歌斉唱や表彰伝達、校長講話があり、後期の心構えや、3年生の進路決定率100%を達成への取り組みなどの説明がありました。引き続き、生徒会長および役員の認証状が授与されました。

生徒会新役員（※敬称略）▽会長 小宅和哉（2年）、副会長 稲川翔聖（2年）、書記 佐藤希枝（2年）、齋藤蒼磨（1年）、会計 蹴場満月（1年）、議長 矢部太朗（1年）、監査 沖津美羽（1年）、古川季希（1年）

■中学生体験入学（10月3日）

一日体験入学を行い、30人が来校しました。校長が歓迎し、学習や行事、町のさまざまな補助制度などを説明して厚真高校の魅力を紹介しました。また、小宅生徒会長や生徒会役員がスライドで生徒会行事などを説明しました。さらに、希望に沿った授業を体験し、アンケートを記入してもらいました。大勢の入学希望者に期待しています。



実り多き秋

松尾芭蕉は「秋深き隣は何をする人ぞ」と詠み、静けさの中で隣人に思いを寄せる気持ちを託しました。深まる秋。厚高生もまた、伝統文化やスポーツ催事に参加して、感性を研ぎ澄ましています。

9月16日の厚真神社の秋季例大祭には、公営塾の生徒たちが参加しました。エゾフクロウが見守る鎮守の杜で行われた荘厳な神事は、初めての経験です。17年ぶりに行われた神輿渡御では、担ぎ手約30人が町内を練り歩き、厚高生の心に歴史と伝統を刻みしました。

忍耐力や達成感を培ったのは、9月18日に行われた厚真高校の全校強歩大会です。完走を目指し、13.7kmのコースに挑戦しました。「暑い！給水所はまだですか？」「膝がもうガクガクです！」。弱音も聞こえてきましたが、沿道の皆さんの温かな応援で背中を押され、生徒63人全員が自己に打ち勝ちって完走しました。

10月10日の屋外体育大会では、競技を通じてお互いの信頼関係を強めて連帯感を高めました。競技は、玉入れや綱引き、障害物競走、リレー、教員とのソフトボール対抗試合など盛りだくさんです。「出る種目が多くて大変です」と言いつつも、真剣勝負を通じて尊重する心がさらに磨かれ、さわやかな笑顔が広がりました。

寛容で豊かな厚真の自然に包まれ、多くの町民に見守られている厚高生たち。日常生活の中で、実り多き秋を過ごしています。

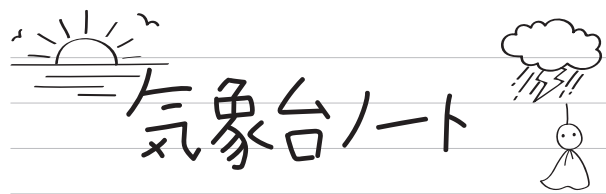
教育魅力化支援員 鈴木 平



よりみち通信



「よりみち学舎」は厚真高校と地域が連携しながら放課後を利用して生徒が自ら目標を発見し挑戦する公営塾です。



気象台ノート

台風から身を守る

日本列島に住む私たちにとって、台風は避けられない自然災害です。今年の7月15日、9年ぶりに北海道に台風が上陸しました。台風に伴う強い風雨は甚大な被害をもたらす可能性があり、日ごろから備えを万全にしておくことが大切です。

台風が接近する前に、家の周りを点検しましょう。風で飛ばされそうなものは家の中に入れるか、しっかりと固定してください。停電した場合の備えも確認しておきましょう。また、非常持ち出し品の準備や避難場所を事前に確認する必要もあります。

台風の接近中は、不要不急の外出を控えることが最も重要です。台風が通過した後も、増水した河川や冠水している道路などには近づかないようにしましょう。

台風の進路や勢力は常に変化します。最新の気象情報をこまめに確認し、自治体からの避難情報にも注意を払い、早めの行動を心がけましょう。日ごろからの備えと適切な行動が何よりも重要です。

気象庁ホームページ
台風情報



歳末たすけあい チャリティー即売会

物を大切に作る環境づくりをめざし「歳末たすけあいチャリティー即売会」を開催します。寄付していただいた物品は安価で販売し、即売会での収益金の一部を歳末助け合い募金に寄付します。皆様のご協力とご来場をお待ちしています。

とき

12月1日(月) 10時～12時

ところ

総合福祉センター2階青年室

コミュニティ運動推進協議会事務局(まちづくり推進課企画調整グループ内) ☎27-3179

寄付のお願い

衣類、運動用品、台所用品の寄付をお願いします。
※衣類については洗濯してあるもの
※家電用品、家具類など大きくて運びにくいものは不可

◎回収期間
11月10日(月)～11月27日(木)

◎回収場所
地区のコミュニティ推進員のお宅
または総合福祉センター
※残った商品の処分に費用がかかるため、精査のうえ
ご協力いただきますようお願いいたします。

繊維リサイクルのお願い

繊維リサイクルとは、古衣料をウエス(工業用雑巾)に再生することです。
「チャリティー即売会には古すぎてダメだけど、繊維リサイクル用としてなら良いかな」という衣料がありましたら、繊維リサイクルについてもご協力ください。

◎通年回収先…総合福祉センター、厚南会館、こども園つきき

防災のページ

問い合わせ 総務課 情報防災グループ ☎27-2481

災害時の低体温症と エコノミークラス症候群の予防

災害時の低体温症予防

朝晩の冷え込みが増す季節が訪れました。冬の避難所生活では、重症化のリスクを伴う低体温症への注意が必要です。適切な防寒着の着用や適度な運動で血行を促進するなど工夫が大切です。

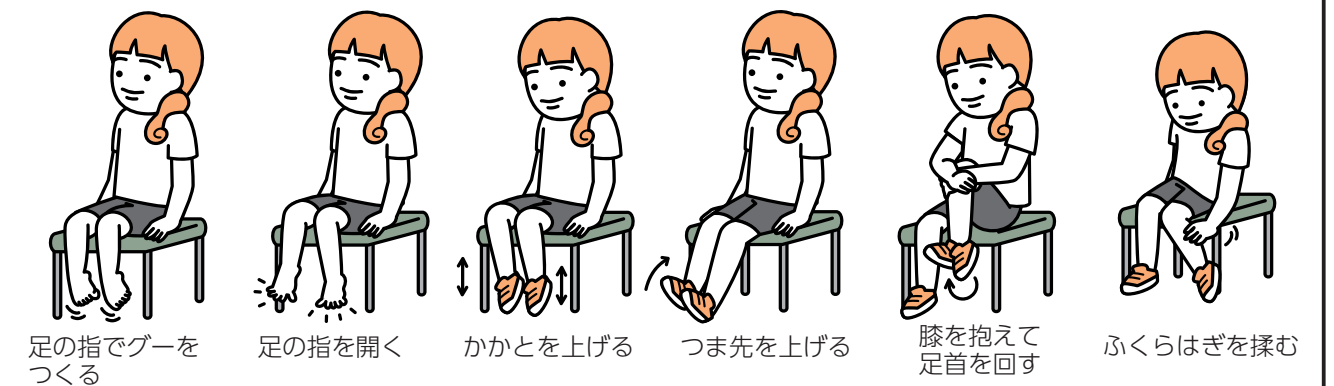
低体温症は、体から失われる熱量が、運動や外部から得られる熱(日光や暖房などの熱)を上回った場合に起こります。初期症状として、体の震えや歯がカチカチ鳴ります。さらに体温が低下すると、動作が遅く感じなくなったり反応するまでの時間が長くなり、やがて震えが止まって意識が混濁して昏睡状況に陥ります。

- 避難の際は、すぐ取り出せるように玄関に防寒着や冬靴を準備しておく。
- 濡れた衣類、特に綿製の衣類は着替える。
- 重ね着しましょう。帽子や手袋、マフラー、厚手の靴下なども有効。
- カロリーがあるものや、温かい食べ物・飲み物をとる。
- 床に直接寝ない。ダンボールベッドやマットなどを使って床の冷気に触れないようにする。

災害時のエコノミークラス症候群予防

車中泊や避難所生活では、水分補給をしなかったり、長時間足を動かさないでいることが多くなります。食事や水分を十分に取らない状態で長時間にわたり同じ姿勢でいると、血行不良によって血液が固まりやすくなります。その結果、血のかたまり(血栓)が血管の中を流れ、エコノミークラス症候群などを発症しやすくなります。

- 軽い体操やストレッチ運動を行う。
- こまめに水分を取る。
- 飲酒・喫煙を控える。
- ゆったりとした服装で、ベルトをきつく締めない。
- かかとの上げ下ろし運動やふくらはぎを軽く揉む。
- 就寝時は、足を上げる。



住宅用火災警報器を設置しましょう

住宅用火災警報器の設置は、消防法で義務づけられています。市内の設置率は9月末時点で全世帯数の93.0%です。胆振東部消防組合消防署厚真支署は、未設置の住宅への普及・促進の取り組みとして、厚真町に居住する65歳以上のみの世帯を対象に、住宅用火災警報器取付費用給付事業を実施しています。

問い合わせ 胆振東部消防組合消防署厚真支署 ☎26-7119

火災警報機設置による奏功事例

冬目前!
ストーブの近くに
燃えやすい物を
置いていませんか?

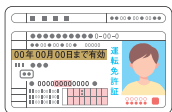
住人が、電気ストーブを着けたままベッドで就寝中、布団がずれ落ち電気ストーブに接触して出火。寝室の住宅用火災警報器が作動して警報音で目を覚まし、布団を手でたたいて初期消火しました。

住宅用火災警報器はあなたの生命と財産を守ります。ストーブなど暖房器具の近くに燃えやすい物を置かないように注意し、もしもに備えて住宅用火災警報器の設置・維持管理をしましょう! また、ストーブや暖房器具を正しく取り扱い、定期的な掃除を心がけてください。

情報ひろば

運転免許証 更新時講習

12月



苫小牧市交通安全センターで行っている運転免許証更新時講習(優良)の日程をお知らせします。その他の講習日程(一般、違反、初回)については、下記までお問い合わせください。

【10時30分～11時】

2日(火)、3日(水)、5日(金)、10日(水)
12日(金)、16日(火)、18日(木)、19日(金)
24日(水)、25日(木)、26日(金)

【13時30分～14時】

4日(木)、9日(火)、15日(月)、23日(火)
(一社)苫小牧地区交通安全協会
☎0144-33-1458

町税・保険料 今月の納期



科目	固定資産税(第3期)
	国民健康保険料(第3期)
	後期高齢者保険料(第3期)
納期	12月1日(月)

問い合わせ
住民課 税務グループ☎26-7871
住民課 町民生活グループ☎26-7871

まちの善意



町への寄付

社会福祉協議会への寄付

毎月
12日

豆腐づくり体験会



町観光協会は毎月12日を「豆腐の日」とし、豆腐づくり体験会を開催しています。厚真産大豆のうま味が感じられる甘くておいしい豆腐を作りませんか。製造過程でできるおからの一品料理も紹介します。

厚真町観光協会 ☎29-7711、FAX29-7712
✉ info@atsuma-kankoukyukai.jp

日 時：12月12日(金)／1月12日(月)
2月12日(木)／3月12日(木)
各回9時から3時間程度

場 所：こぶしの湯あつま農産物加工実習室
定 員：各回とも先着10人(最少催行人数7人)
参加費：1,500円
持ち物：エプロン、三角巾、手拭きタオル
上靴(スリッパ不可)、大きめの保存容器
申し込み：実施日の1週間前まで

人権週間 困りごとなんでも相談所

苫小牧市人権擁護委員協議会は、12月4日～10日の人権週間期間中に「人権週間 困りごとなんでも特設相談所」を開設します。毎日の生活の中で、いじめ・嫌がらせ、虐待、パートナーからの暴力、セクハラ・パワハラ、プライバシーの侵害などの困りごとがありましたら、お気軽にご相談ください。相談は無料で事前予約制です。

■日時 12月4日(木) 13時～15時30分
■場所 町総合福祉センター
■相談員 町人権擁護委員
■問い合わせ

■問い合わせ
教育ローンコールセンター(ナビダイヤル)
☎03-5321-866

自衛官募集

自衛隊札幌地方協力本部苫小牧出張所
☎0144-32-3725

■自衛官候補生(第5回試験)

応募資格▶18歳以上33歳未満(32歳は要連絡)

受付期間▶12月4日(木)まで
試験日程▶12月12日(金)または13日(土)

試験科目▶筆記試験(ウェブ試験：国語・数学・社会・作文・適正検査)、口述試験、身体検査

■高等工科学校生徒(推薦)

応募資格▶令和8年4月1日現在15歳以上17歳未満

受付期間▶11月28日(金)まで
試験日程▶令和8年1月10日(土)から12日(月)のいずれか1日

試験科目▶口述試験、学科試験、作文、身体検査

■高等工科学校生徒(一般)

応募資格▶令和8年4月1日現在15歳以上17歳未満

受付期間▶令和8年1月15日(木)まで

試験日程▶令和8年1月24日(土)または25日(日)

試験科目▶筆記試験(国語、社会、数学、理科、英語、作文)(第1次試験合格者に2次試験日を指定します。)

※受付期間は締切日必着
※試験日程が急に変更になる場合があります。

「国の教育ローン」のご案内 (日本政策金融公庫)

札幌法務局苫小牧支局総務課
(☎0144-34-7151)



あつま国際雪上3本引き大会

参加チーム募集!!



厚真の冬的一大イベント「あつま国際雪上3本引き大会」を開催します。白熱した戦いで皆さまに元気をお届けします。ぜひ観戦にお越しください。また、大会に参加するチームを募集しています。お友だちや職場の仲間同士などでチームを作ってご参加ください!

日時：令和8年1月25日(日) 競技開始：10時から

場所：かしわ公園野球場(本郷283-1) 申し込み 12月22日(月)までに持参・ファックス・郵送にて申込書を実行委員会に提出してください。

人数：1チーム競技者8人～16人

※競技人数…8人

※登録人数…最大16人まで可能

参加費：1チーム10,000円(昼食込み)

あつま国際雪上3本引き大会実行委員会
京町37番地(町商工会内)
電話：27-2456 ファックス：27-3877



いきいきサポートサロンに参加しませんか?



いきいきサポートサロンは、65歳以上の皆さんの健康増進・介護予防・生きがい活動を行う場所です。バスの待ち合いや、ちょっと寄って知人とお話したい時など、自由に利用できます。

月間予定表を見て、参加してみたい活動等がありましたら、お気軽にお越しください。趣味のサークルで利用を希望の方もご連絡ください。また、65歳以下の方もボランティアとして共に活動しませんか?人生の先輩から知恵と技術が学べます。

12月のよう

月	火	水	木	金
1	2	3	4	5
8	9	10	11	12
15	16	17	18	19
22	23	24	25	26
29	30	31		

月・木

介護予防体操【10時～11時】 担当：高橋/村上/山崎
ストレッチ、有酸素運動、脳トレ

火

介護予防体操【10時～11時】 担当：板垣
がんばらない椅子ヨガなど

水

趣味の活動【13時～15時】 クラフトテープのかご編み

金

ババカフェ【10時～15時】 高齢者の皆さん主催のカフェ

厚真町いきいきサポートサロン
京町34 ☎29-7535

開放時間▶月曜～金曜日 9時30分～17時
無料水分補給カフェコーナー▶月曜～木曜日 9時30分～15時

こぶしの湯あつま イベントカレンダー 12月

日	月	火	水	木	金	土
	1 [2倍] シルバー	2 [3倍] メンズ	3 高齢者券	4 レディース	5	6 [3倍]
7 ちびっこ	8 シルバー	9 メンズ	10 高齢者券	11 レディース	12 [3倍]	13
14 ちびっこ	15 [2倍] シルバー	16 [3倍] メンズ	17 高齢者券	18 レディース	19	20
21 ちびっこ	22 [3倍] シルバー	23 体館日	24 高齢者券	25 [2倍] レディース	26 [3倍] 風呂の日	27
28 ちびっこ	29 シルバー	30 メンズ	31			

毎週日曜 ちびっこデー▶小学生はスタンプ2個

毎週月曜 シルバーデー▶65歳以上はポイント3倍

毎週火曜 メンズデー▶男性はスタンプ2個

毎週水曜 高齢者無料入浴券の日▶町交付の無料券利用でレストランのヘルシーセットが890円→700円

毎週木曜 レディースデー▶女性はスタンプ2個

毎月26日 風呂の日▶町民は入浴無料(要身分証明書)
※対象外の方はポイント3倍、スタンプ2個

2と6のつく日▶ポイント3倍(風呂の日を除く)

5のつく日▶町交付の無料券利用でポイント5倍

※イベントは予告なく変更することがあります。

年末年始の
営業時間

	12月31日(水)	1月1日(木)	1月2日(金)	1月3日(土)
日帰り入浴	10:00～18:00		10:00～20:00	
レストラン	休 業		11:30～14:30 / 17:00～20:00 (最終注文30分前)	

問い合わせ こぶしの湯あつま ☎26-7126



夫婦二人三脚で山田牧場を営む
Vol.67 やまだ こうじ みはる
山田 耕司さん・美晴さん

87頭の乳牛が、のどかに日々を送っています。浜厚真地区の山田牧場です。代々続く酪農家の後継者として、山田耕司さん・美晴さん夫妻も家業をこなしています。結婚4年目で男児を出産した喜びの中、美晴さんが手塩にかけた未經産牛が、「第16回全日本ホルスタイン共進会」の北海道代表に選ばれました。仲睦まじい2人に話を聞きました。

全国に厚真の牛の魅力を伝えたい

跡継ぎを決心していた耕司さん、「牛が大好きで、雄大な自然に囲まれた北海道で牛と触れ合いたい」と夢を抱いていた京都府亀岡市出身の美晴さん。2人は、2年間、全寮制の北海道農業専門学校（札幌市）で知り合いました。数少ない休みを利用して耕司さんの実家を訪れるうちに気心を許すようになり、令和3年にゴールインしました。互いに呼び捨てで名前を呼び合っています。「人への思いやりがあり、一緒に苦勞を乗り越えて価値観を高め合える人」。目を見つめて照れ笑いを浮かべました。命と向き合う仕事です。人間と同じように性格は異なり、個々の性格を熟知した上で牛との信頼関係は成り立ちます。物おじしない牛、人懐っこい牛などさまざまです。絶えず、スキャンシップを取って、牛の気持ち

をくみ取ります。「こっ、かゆいんでしょ？」と、優しい眼差しで手を伸ばすと、気持ちよさそうに首を伸ばす牛もいます。通じ合う心の会話が、酪農の魅力と2人は胸を張りました。「アルバイトな時間は少なくても、常に時間を共有しているので幸せです」と耕司さんがはにかみました。

10月25日、26日に安平町で開かれた全日本ホルスタイン共進会には、全国から約400頭が集結。種付けから美晴さんが育てた「オーシャンジャスターメイ」は、未經産第1部（10カ月以上12カ月未満）で優等賞4席に輝き、初の全国入賞を果たしました。

「出場できなかった乳牛の分まで、全国の舞台でジャスターメイと共に集大成を飾ることができました」